

償却資産申告書の書き方(記入例)

【前年前に取得したもの(イ)】
前年1月1日以前に取得したもの
(前年度の申告書の(ニ)欄と同じ額を記入してください。)

【前年中に減少したもの(ロ)】
前年1月2日～今年1月1日中に減少したもの
(廃棄・売却・他市町村へ移動した資産など)
※減価償却による減少額は含まれません。

【前年中に取得したもの(ハ)】
前年1月2日～今年1月1日中に取得したもの
(購入・他市町村から移動した資産など)

【計(ニ)】
(イ)-(ロ)+(ハ)の額を記入してください。
前年中の増減がない場合は、(イ)欄の額を記入してください。

【個人番号又は法人番号】
個人の場合は12桁の個人番号(マイナンバー)、
法人の場合は13桁の法人番号を記入してください。
(個人番号については、左側を1マス空けて記入してください。)

【住所・氏名】
法人の場合は、本店所在地・代表者氏名を記載してください。
なお、本店以外に納税通知書等の送付を希望される場合は、その住所を()書きで併記してください。
個人の場合は、所有者の住所(住民登録地等)を記入してください。
また、共有の場合は代表者の住所を記入してください。その際、氏名欄は代表者・外○名とし、共有者の方の住所・氏名を併記してください。

令和 ○ 年度
償却資産申告書(償却資産課税台帳)

令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日
福津市長 殿

受付印

※所有者コード

第二十六号様式 (提出用)

1 住所 (ふりがな) 〒811-3293 福岡県福津市中央1丁目1番1号 (電話 0000-00-0000)

2 氏名 (ふりがな) ふくつ たろう
福津 太郎 (屋号 カフェ福津)

3 個人番号又は法人番号 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3

4 事業種目 飲食業

5 事業開始年月 令和 ○ 年 ○ 月

6 この申告に応答する者の係及び氏名 福津 次郎 (電話 0000-00-0000)

7 税理士等の氏名 税理士 福津 花子 (電話 0000-00-0000)

8 短縮耐用年数の承認 有 無

9 増加償却の届出 有 無

10 非課税該当資産 有 無

11 課税標準の特例 有 無

12 特別償却又は圧縮記帳 有 無

13 税務会計上の償却方法 定率法 定額法

14 青色申告 有 無

資産の種類	取得		償却		計((イ)-(ロ)+(ハ))(ニ)
	前年前に取得したもの(イ)	前年中に減少したもの(ロ)	前年中に取得したもの(ハ)	前年中に減少したもの(ロ)	
1 構築物	29,200,000	0	10,600,000	0	39,800,000
2 機械及び装置	560,000	560,000	0	0	0
3 船舶	0	0	0	0	0
4 航空機	0	0	0	0	0
5 車両及び運搬具	0	0	0	0	0
6 工具、器具及び備品	24,390,000	550,000	670,000	0	24,510,000
7 合計	54,150,000	1,110,000	11,270,000	0	64,310,000

15 市内における事業所等資産の所在地
① 福津市中央2丁目2番2号

16 借用資産 有 無
貸主の名称等 福津市中央3丁目3番3号 福津リース 株式会社

17 事業所用家屋の所有区分 自己所有 借家

18 備考(添付書類等)

資産の種類	評価額	決定価格	課税標準額
1 構築物			
2 機械及び装置			
3 船舶			
4 航空機			
5 車両及び運搬具			
6 工具、器具及び備品			
7 合計			

記入不要

該当する方を○で囲んでください。
短縮耐用年数の承認を受けた方、
増加償却の届出をされた方は
その写しを添付してください。
非課税や課税標準の特例に該当する
資産がある場合は別途書類の提出を
願います。

事業所や資産所在地を記入して
ください。
所有者住所と同じ場合は、「住
所と同じ」と記入してください。
福津市内に2以上の事業所や資
産所在地がある場合は、その主
たる事業所等の番号を○で囲ん
でください。

借用資産の有無について該当
する方を○で囲んでください。
有の場合は、貸主の住所氏名を
記入し、リース資産の申告不要
です。

事業所用家屋の所有区分につ
いて該当する方を○で囲んでく
ださい。

【備考】
償却資産がないときは「該当資
産なし」、閉店や解散した場
合は「令和○年○月 廃業」と記
入してください。
添付書類がある場合は「○○
(書類名)添付」と記入してく
ださい。
非課税・課税標準の特例に該
当する資産がある場合は適用
条項等を記入してください。

【記載上の注意点】
○印字している内容に変更がある場合は、抹消線を引き、余白に正しい内容を記載してください。
○初めて申告される方は(イ)前年中に取得したもの(ロ)前年中に減少したものを記入する必要はありません。
○資産の内訳は、別紙「種類別明細書(増加資産・全資産用、減少資産用)」を提出してください。